

基礎経済科学研究所 自由大学院

大阪第三学科(金融流通協同組合論ゼミ)からのたより

[第865回ゼミ報告] 2023年10月6日号

先生の質問に一齐に小学生が手を挙げ、さされた子が答える教室。この度は、質問に一齐に手を挙げたのに、指名しない記者を決めていたとは、…

9月27日のゼミは、斎藤幸平『ゼロからの『資本論』』の第6章「コミュニズムが不可能だなんて誰が言った？」を後藤さんの報告で行いました。コミュニズムというユートピアとしての資本論、その草稿・ノートで物質代謝論がカギとなる。さらに非西欧の共同体を研究、そこに共同所有と平等・持続に至る道を見ることで欧州中心主義の進歩史観を捨てた。脱成長コミュニズムが晩期マルクスの理想像であり、地球の所有者でなく用益者に過ぎない。平等で持続可能な定常型経済社会が晩年のマルクスの構想であった。ゴードン綱領批判で能力と必要で等価交換でない贈与の世界を構想し、パリコミュンに国家でない新しい民主的政治形態を見て、協同組合的生産がコミュニズムの基礎。報告の長文のレジюмеで前半が終わり、後半は次回に行きます。討論では、唯物史観あるいは史的唯物論、同じとみるか。斎藤は社会的生産力、あるいはGDPを肯定的に捉え、生産力から生産関係を論じる。否定の否定にはヘーゲル左派としてのエンゲルスがあり、ロックは自己労働による私的所有を論じた。ゴードン綱領は初期社会主義者の言葉であり、その批判、また未来社会論としてのソ連の問題がある。レーニンソビエト・レーテとコミュン、憲法議会の解散に問題があった。アナーキスト(無政府主義)の論及は今や色々出てきているが、実践論がないのでは。労働者協同組合はどうか。エンゲルスの自然の復讐、それに対しフォスターが物質代謝・マルクスとエコロジーを論じている。「コモン、雑成長」という論点もある。会場参加は川口さん・高田・車で東京から往復千キロの会場に来られた初参加の木内結三子さん、オンライン参加は斎藤さん・竹内さん・後藤さんの6名でした。

* 10月11日(第2週)ゼミも、午後5時半(or 45分)から8時です。

・オンライン情報 Zoom: ID: 895 0800 4606 パスコード: 040540

* 9月27日ゼミでは、斎藤幸平本の第6章は前半のみで終わりました。

第6章の後半は次々回10月25日ゼミで行います。

* 斎藤幸平本の次は、レーニン『帝国主義論』に決まり、11月22日から始まります(報告者: 竹内さん)。新刊本は光文社古典新訳文庫ですが、古本では大月国民文庫、岩波文庫などが手に入ります。

***** ゼミ日程 *****

10月11日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋
柄谷行人『力と交換様式』第2部3章 絶対王政・宗教改革 報告高田

10月25日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋
斎藤幸平『ゼロからの『資本論』』第6章 コミュニズム(後半) 報告後藤さん

11月8日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋
柄谷行人『力と交換様式』第3部1章 経済学批判 報告者未定

その後 11/22, 12/13, 12/27 [アイクルの部屋] 2024/1/10, 1/24

◇第三学科事務局/高田好章: ytakada@kcn.ne.jp 090-8658-3755
HomePage: <http://ysweb.g.dgdg.jp/ytakada/kisoken/> Pass: kiso